

羅臼町広報誌

魚の城下町

みんなが主役のまち

5
2019
No. 294



新元号「令和」へ

令和元年初日 希望の命誕生

平成から令和へと時代が変わり、日本中が祝福に包まれた5月1日。
町内に住む濱波さん夫婦のもとへ長男 綾人くんが元気な産声をあげ誕生しました。

知床羅臼町体験学習推進協議会 8年目の歩み

羅臼昆布の説明を聞く修学旅行生

平成30年度の修学旅行受入状況

平成30年度に知床羅臼町体験学習推進協議会（以下「協議会」）が受け入れた修学旅行は、関西と関東の中学校・高校の4校で、生徒と教員等を合わせ517名の受け入れ数となりました。平成29年度と比較すると受入学校数は1校減少しましたが、受入人数は215名増加しました（図1）。増減の要因として、平成29年度は50名前後の小規模単位の修学旅行が多かったものが、平成30年度は100～200名規模の修学旅行を受け入れたことによるものです。

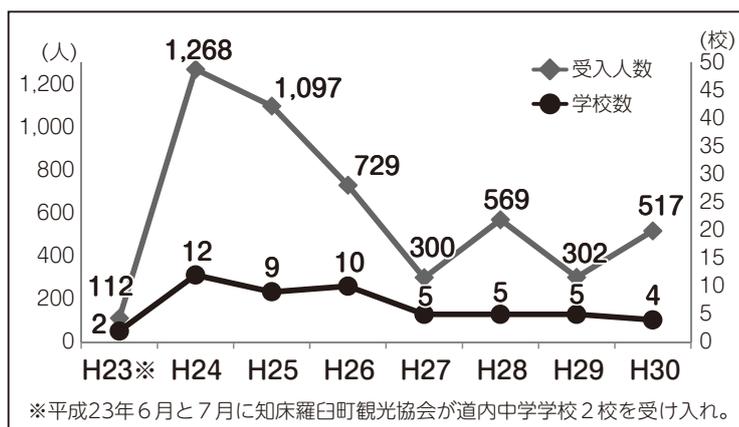


図1 羅臼町における修学旅行受け入れ数の推移

北方領土学習と産業体験

昔から修学旅行の王道といえば、京都や奈良等で遺跡や文化財、寺社を巡る学習や沖縄や広島での平和学習と現在も変わりありませんが、羅臼町を訪れる学校は北方領土学習と産業体験を目的に訪れています。平成30年度に実施した北方領土学習では、当時の島の様子や引き揚げ時の様子を聞く語り部の講話（図2）、観光船で目に見えない中間ライン付近まで移動し国後島を間近に感じる洋上視察、産業体験では羅臼昆布の倉庫見学とひれ刈り体験、豊富な魚種や競りを見る市場見学（図3）が行われました。また、7年連続で羅臼町を訪れている静岡県立浜松市立北部中学校は、知床未来中学校協力のもと両校の生徒による交流事業を行いました。



図2 語り部講話の様子



図3 市場見学の様子

学校の課題

協議会では、道外の旅行会社や学校を訪問し、修学旅行先として羅臼町を選定していただけるよう、誘致活動も毎年行っています。羅臼町での体験プログラムについて、魅力的だと理解してもらっているのですが、「資金面が課題となり羅臼町まで行けない。」とよくいわれます。浜松市立北部中学校のように、長年に渡り修学旅行先として選定いただく学校もありますが、多くの学校（特に公立）が、羅臼町へ行くためには、航空機の規模や料金、バス借上げ料金の予算繰りが難しく、断念するというのが現状です。例えば、関西・関東からであれば沖縄や札幌に行く方が移動手段も多様で運賃等も安く済むことから、資金面の問題で行き先が限定される状況もあるわけです。

内閣府「北方領土を目で見る運動」の活用

先述した学校の資金面での課題を解決する一つ的手段として、内閣府の「北方領土を目で見る運動」補助制度があります。これは、若い世代が北方領土隣接地域（根室管内）を訪れ、見聞きすることで北方領土問題に関心を持って貰うことを目的に、根室管内を修学旅行で訪れる際、交通費用や体験費用等を補助する制度です。

補助額が少なかったり、旅行会社や学校が制度を知らなかったりとなかなか利用がされていませんでしたが、平成30年度は内閣府が補助制度を拡充した他、国内教員を対象に根室管内への下見ツアーを実施する等、積極的にPR活動を展開されました。協議会が学校訪問した際は、多くの学校が制度の活用を検討していました。その成果もあり令和元年度は道外から10学校、約1,200名の受入予定となっています。

さいごに

羅臼町は、世界に誇る産業や自然環境に触れ、さらには北方領土問題という国際問題について学ぶことができる町です。観光面でも受入時の経済効果があるのは勿論ですが、羅臼町での修学旅行が中高生の記憶に残れば、彼らが大学生、社会人になった時に、改めて観光で行きたい町として選び、その時は友達や恋人、夫婦、家族が増えれば、親や子どもと訪れてくれるはずです。今、羅臼町を訪れた一人が二人にも三人にもなって帰ってくる。まさに修学旅行は将来の観光客誘致と北方領土啓発への投資であるともいえます。

今後、内閣府の補助制度拡充効果で、修学旅行受入数が増加する可能性もあり、羅臼らしい魅力ある体験プログラムの開発も行う必要があります。新たに体験プログラムを提供・提案いただける個人、団体がいらっしゃいましたら、お気軽に産業創生課までご連絡ください。令和元年もオール羅臼での取り組みにご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。



【知床羅臼町体験学習推進協議会】（平成23年8月29日設立）

幹事団体 羅臼町、羅臼漁業協同組合、羅臼町商工会、（一社）知床羅臼町観光協会

協力団体 羅臼町連合町内会、羅臼鮮魚買受人組合、羅臼町水産加工振興協会、羅臼町飲食業連合会、羅臼町旅館組合、知床羅臼観光船協議会、知床羅臼ガイド協会、千島歯舞居住者連盟羅臼支部、郷土芸能知床いぶき樽保存会、羅臼町女性団体連絡協議会、羅臼漁業協同組合青年部、羅臼漁業協同組合女性部、羅臼町商工会青年部、羅臼町商工会女性部、知床らうす深層水利活用協議会、公益財団法人知床財団羅臼地区事業部

事務局/問合せ 羅臼町役場 産業創生課（Tel 87-2126）

これからの羅臼を担う 産業人材の育成に向けて！

「羅臼高校「水産教室」の取り組み」

長寿事業 羅臼高校「水産教室」35年の歴史

町民の皆さん、「水産教室」という事業をご存じですか？『俺が高校生の中からあつたな！』『ロープワークの講師はウチの親父だったんだよね！』そんな会話が町内のあちらこちらから聞こえてきそうな程、地域とともに取り組んできた一大事業です。

水産教室は、昭和60年、羅臼高校、羅臼漁業協同組合、羅臼町教育委員会の三者の連携を確立しつつ、漁業後継者育成を指す事業として企画されました。当時、中学卒業後に船に乗る大部分は漁業研修所で研修を受けていましたが、高校卒業後に従事する者は予備知識なしで船に乗るため、多くの船頭をはじめ漁業関係者から漁業就労を希望する若者の育成事業を望む声が寄せられ、当時、200億円もの水揚げを誇る豊富な水揚げを背景に、密漁や横流しの問題もあり、地域課題に切り込む事業への発展を期待して取り組みがスタートしました。



魅力溢れるプログラムを地域人材の力で展開

「水産教室」では、漁業者はもちろんのこと、町内の水産加工業者をはじめとする町内企業の皆様にもご協力いただき、羅臼町の産業を知る学習に繋がる魅力的なプログラムを展開しています。

中でも特色ある取り組みとして注目されているのは、スキューバライイセンスカード（C級）が取得できるダイビング実習であり、羅臼の海を学ぶプログラムの一環として技術取得も行うことができます。

羅臼高校で国家資格を！ ～潜水士への道～

特色ある取り組みとして注目されているスキューバライイセンスの資格取得と併せ国家資格「潜水士」の取得に向けた資格取得プログラムが新たな取り組みとしてスタートします。

国家資格である潜水士を取得することで、これまで取得することができたスキューバライイセンス資格を、漁業や海洋土木、海洋調査やダイビング指導などの海中作業の現場をはじめ、より実践の場で活かすことができるようになり、これまで実施してきたプログラムの磨き上げと各産業界で活躍する人材育成を目指し取り組むものです。



今年度の「水産教室」プログラム

30年の時を経てなおも進化を続ける「産業教室」

現在は、基幹産業である漁業を中心とした羅臼町の産業に関する知識や技術を学ぶため、観光業や商工業、酪農業など町内で取り組まれている幅広い産業に関連するプログラムが組まれています。

今年度は、より羅臼の現状の産業課題の解決に繋げ、これからの羅臼町を支えるために必要なスキルをもった産業人材の育成を目指すため「水産教室写真展」の開催時に町民からの意見集約を目的としてアンケート調査を実施。そこで寄せられた声を基に、ブランド化やマーケティングに関するプログラムや新たな観光・産業体験の開発にチャレンジするプログラムが盛り込まれました。

～主なプログラム～

- 漁師直伝「ロープワーク講座」
- 育てる漁業を学ぶ「ウニ種苗センター見学」
- 水揚・加工・流通を学ぶ「羅臼漁協市場及び水産加工場見学」
- これが一番うまいトバの作り方「鮭トバ加工体験」
- 浜の母ちゃんから学ぶ「郷土料理実習」
- 羅臼の魅力を世界へ「ブランド化・マーケティング授業」
- 良さを伝えるって難しい：「実践販売チャレンジ」
- 目指せ潜りのプロ「ダイビングライセンス&国家資格取得」

今年度も、8名の水産専科生が1年間を通して述べ25のプログラムにチャレンジします。

今年度は記念講演も「味違う」 「産業の担い手トークセッション」

毎年恒例の開級式後に開催している記念講演。今年度は、異なる産業の担い手が一堂に会し「産業の担い手トークセッション」担い手が考えるこれからの羅臼」と題してトークセッション形式で記念講演が開催されました。

漁業分野からは、ホタテ養殖漁業に従事しこの春から羅臼漁協青年部長としても活躍する太田大輔氏、酪農分野からは、道外から羅臼町に移住され酪農家として良質な生産を続ける稗田徹也氏、商工業からは、地域の資源を活用した商品開発に取り組む、㈱ケミカル芦崎拓也氏をお招きし、羅臼町の産業の魅力や課題、異業種との連携、これからの羅臼町の可能性など、様々な視点でトークセッションが展開されました。

その中でも、これからの課題として、後継者や季節雇用者の人材不足、PR不足などがあげられ、分野は違っても羅臼町の産業に携わる人が複合的且つ横断的な視点をもって取り組まなければいけないと3名からお話がありました。

また、「ピンチの時こそチャンスであり何が生まれるか」「自分の本当のやりたいを見つけて進んでほしい」と高校生にエールが送られ、地域の担い手により有意義な学びの時間となりました。



羅臼町議会議員当選者

活力ある町を一緒に描きませんか



加藤 勉

72歳

当選回数2回

いま羅臼^{まち}が変わる!!



田中 良

65歳

当選回数4回

産業に活力と安定を!!



高島 譲

68歳

当選回数4回

自助と自律 魅力ある町づくり



井上 章

89歳

当選回数4回

羅臼のまちを元気に



坂本 志郎

70歳

当選回数5回

経験と実績を町政に!



松原 臣

66歳

当選回数7回

皆さんの声を町政・議会に



村山 修

67歳

当選回数7回

ステップアップ羅臼!



鹿又 政義

68歳

当選回数7回

本当に必要なものをこの町に!!



小野 哲也

52歳

当選回数5回

夢開花輝く瞳・豊かな心 未来の風にのせて



佐藤 晶

69歳

当選回数7回

(掲載順は議席番号順となります。)

『なくそう！望まない受動喫煙』



ヘルス
チェック

2018年7月、健康増進法の一部を改正する法律が成立しました。このことで、望まない受動喫煙を防止するための取り組みは、マナーからルールへと変わります。

この改正された健康増進法は、2020年4月1日より全面施行されます。

受動喫煙が健康に悪影響を及ぼすことは、科学的に明らかであり、心筋梗塞や脳卒中、肺がんに加え、こどもの喘息や乳幼児突然死症候群等のリスクを高めることがわかっています。

このことを踏まえて、受動喫煙防止対策の必要性という共有認識を拡大し、受動喫煙のない世界を目指すことに多くの人が賛同でき、社会的気運を高めるために上のロゴマークができました。



現在、国民の8割以上は非喫煙者という時代になりました。しかしながら、羅臼町の喫煙率は33.4%（平成29年度特定健診受診者の質問票より）と高くなっています。

2020年4月1日から改正健康増進法が全面施行されます。今から禁煙してみませんか？禁煙治療を受ければ「比較的楽に」「より確実に」「あまりお金もかけずに」禁煙することが可能ですよ。

羅臼町役場 保健福祉課 TEL 87-2161

子育て情報ひろば ~すくすく~

ありんこは毎日月～金
9:30～11:30まで
火・水は午後も開放！



4月の外活動は春松小学校の校庭へ。空に舞い上がるこいのぼりを見ながら、広いグラウンドや裏山をのぼってきました。ママと子どもの表情がとってもステキ！ですね。

羅臼は何もない…と思われがちですが自然がいっぱい。何もない幸せを感じる心を育てたいと強く願います。子どもは外に出ると解放感をもちます。無限にある自然を教材にしなから考え行動に移します。大人は寄り添うだけでいいのです。風を感じたなら「風が気持ちいいね」とことばを添えてくれれば最高です。

月に1回ありんこ広場の水曜日を利用し、今年度はありんこ施設の周りを探索する外活動に取り組みます。

今が旬…。まさしく今なのです。大人と一緒に安心した環境の中でたっぷりと自然を楽しむことにこそ子どもも大人も最高の贅沢を知るはずですよ。

★自然がいっぱい！空を飛ばすこいのぼり★

♪6月・7月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場(0歳～3歳対象) ☆すくすく広場(1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場(2歳～3歳対象)

- | | | |
|-----------------|------------------------------------|------------------|
| 6月3日(月) ママの日♪ | 6月5日(水) ありんこ広場 | 6月7日(金) すくすく広場 |
| 6月12日(水) ありんこ広場 | 6月19日(水) 春松幼稚園訪問 | 6月26日(水) ミニミニ運動会 |
| 6月28日(金) のびのび広場 | 6月30日(日) パパの日 *パパと一緒にありんこに来て遊ぶ日です。 | |
| 7月10日(水) ありんこ広場 | 7月17日(水) 羅臼幼稚園訪問 | 7月24日(水) ありんこ広場 |
| 7月26日(金) のびのび広場 | 7月29日(月) 計測 | 7月31日(水) ありんこ広場 |

- * **パパの日**：ママと過ごすありんこってどんな所なのかをパパ達に知ってもらおうこと。子どもとパパの時間を大切にできる時間、ママの一息できる時間にしたい…などをねらいにしています。9時30分～11時30分の間、お好きな時間にお子様といらして下さい。
- * 毎週火曜・水曜日の13時～16時30分まで**一時預かり**を行っています。幼稚園行事の時、午前中の預かりもします。事前にお申込みください。
- * 問い合わせ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』TEL88-1515

知床らうす国保診療所通信

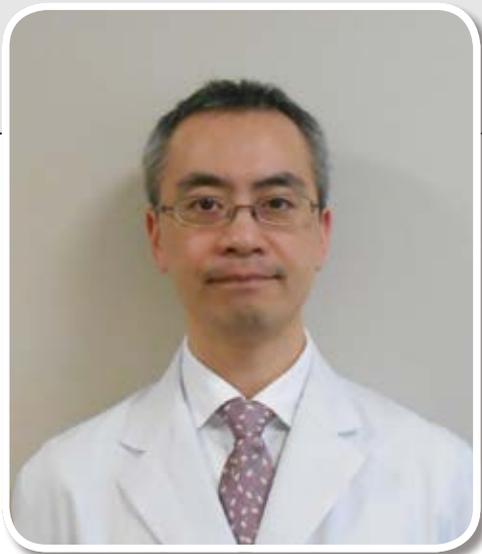
～みんなで育む・みんなの診療所～

平成31年4月15日に着任された木島真先生からのあいさつです。

らうす診療所には、父の木島敏明が一昨年の半ばまで数年間月1回の循環器科診療で伺っていましたが、急病で来られなくなった後に代理で半年ほど私がお世話になる機会をいただきました。その後札幌で勤務している間に、らうす診療所の常勤医がいなくなってしまうとお聞きし、もともと僻地で役に立てる医師になることを目標としてこれまで励んできたので、このたびらうす診療所でお世話になることにさせていただきました。

羅臼町は知床の自然に恵まれたすばらしい所ではありますが、都市圏から遠距離で大病院に受診するのに時間がかかるという不利があります。こうした場所で生活していく中で最も重要なのは、単純に大病を早期発見するというだけでなく、それ以前になるべく大病にかからないような生活習慣を身につけて、高齢になっても生活習慣病を発症しないようにすることではないかと考えます。そのような健康づくりのお手伝いにも関わっていきたいと思います。

また、羅臼町に唯一の医療機関であるため、あらゆる医療問題の初期対応を行うのがらうす診療所の使命だと考えています。コンビニエンスストアであれば、それがどこにあっても、一定の商品やサービスを得られると期待して私たちはお店に入りますが、それと同様に、医療機関に期待される基本的なサービスを提供できるよう努めて参ります。



遠隔画像システムについて

当診療所のMRI装置は、より静かに、より短時間に検査を受けられ、CT装置は脳や心臓、腹部など広範囲の精密画像を撮影することができます。遠隔画像システムを利用して、羅臼で撮影したデータを釧路に送り、専門医が診断することができますので、安心して受診していただけます。

お体で気になることがありましたら、お気軽に診療所にお問い合わせください。



～予約・お問い合わせ～ 知床らうす国保診療所 TEL87-2116



新規採用職員紹介

～平成31年4月1日付けで、4名が町職員として採用されましたので紹介します～

- ①出身地
- ②趣味・特技・好きなこと
- ③誰にも負けないこと
- ④羅臼の好きなところ
- ⑤今後の抱負



かわむら 川村 遥 (総務課)

- ①別海町
- ②家事、長ぐつアイスホッケー
- ③ゾーンに入ったときのディフェンス
- ④見る場所によって感覚が変わる街並み
- ⑤仕事と栄養バランスが良い生活



よしだ りょうと 吉田 遼人 (産業創生課)

- ①神奈川県
- ②風景・動物観察
- ③エゾシカの研究・解析
- ④綺麗な風景
- ⑤地域住民と野生動物が共存でき、世界に誇れる環境づくりをしていきたいです



しが たくと 志賀 拓人 (建設水道課)

- ①福島県
- ②食べ歩き・人の名前を覚えること
- ③大抵の事は怒らない
- ④新鮮なお魚と温かい人たち！
- ⑤羅臼町を活気があり自然と共存した楽しい町にしたいです！



つり かすみ 釣 香沙実 (春松幼稚園)

- ①羅臼町
- ②バスケットボール・書道
- ③字を綺麗に丁寧に書こうとする気持ち
- ④海産物がおいしいところ、海が綺麗なところ、面白い人がたくさんいるところ (笑)
- ⑤地元である羅臼町で働けることになったのでこれまでお世話になった方、これからお世話になる方への感謝の気持ちを忘れずに一生懸命頑張っていきたいと思います。
また、一日一日を大切に過ごして、子どもたちと共に先生として、また、人として成長していきたいと思っています！

よろしくお願ひします

あしたへつながる防災知識

第16弾

災害発生!! 避難する時は(避難場所と避難所の違い)

前回の広報でもお知らせ致しましたが、昨年あらためて避難場所の見直しを行い、指定緊急避難場所と指定避難場所について決定致しました。今後、看板の整備を進めていく予定です。

今回は避難場所と避難所の違いや、避難場所を表す標識マークなどについてご紹介します。

避難場所(指定緊急避難場所)とは

避難場所



広場、公園をイメージする緑の円を表す。

津波や洪水などの切迫した災害が発生した際、身を守るために一時的に避難する場所です。

基本的に公園やグラウンド等の屋外で広い場所を指定しています。

避難所(指定避難所)とは

避難所



屋根がある施設を表す。

災害の危険性が無くなるまで滞在したり、災害により自宅生活が困難になってしまった際に、避難生活をするための場所となります。

主に学校や公共施設等を指定しています。

災害の種類でも変わる避難場所

災害の種類によっては、避難場所の位置により、避難に適さない場所もありますので、災害の種別によっても避難する場所が変わります。

避難所によっては以下のようなマークの付いた看板があるので緊急時に現地で災害種別の判断材料にして下さい。

なお、マークの下に記載してある○・×は適不適表示です。避難場所に適しているものは○、不適には×を示しています。

(例)

がけ崩れ・地すべり



○

がけ崩れ・地すべりが起きた場合に使用出来る。

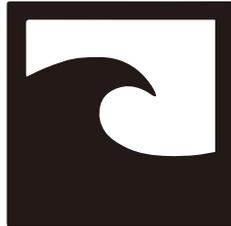
土石流



×

土石流が起きた場合使用出来ない。

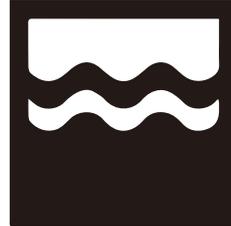
高潮/津波



○

高潮/津波が起きた場合に使用出来る。

洪水



○

洪水が起きた場合に使用出来る。

避難場所/避難所



広場、公園をイメージする緑の円と屋根がある施設を表す。

自分の住んでいる地域から一番近い避難所はどこなのか今一度確認をし、大規模災害が発生した際にはスムーズな避難が行えるよう心がけましょう。



ヒグマの対応状況をお知らせします



今年度から、クマが目撃・出没する時期にクマの目撃・出没状況、捕獲状況や対策など、5月から2ヶ月毎に情報をお伝えしていきます。

また、クマの出没がなくなる1月に今年度の総括として、ご報告する予定です。

4月のクマ目撃・出没状況

◆対応件数24件（前年度7件）

◇松法町（単独グマ）…ソスケ地区の住宅裏の斜面側

◇礼文町（親子グマ）…教員住宅裏の斜面側

◇共栄町から海岸町（親子グマ・単独グマ）…ざいもく岩トンネル付近からサシルイ岬間の斜面側

◇北浜以北（単独グマ）…斜面側、海岸側で目撃多数

4月のクマ駆除状況

◆駆除件数1件（前年度0件）

◇海岸町にて追い払い後も連日出没していたため、1頭を駆除

クマ対策のお願い

- 生ごみは外に置かない、魚は2階などクマが届かない場所に干す、草刈りを行うなど、ご協力をお願いします。
- 住宅用の電気柵を知床財団で貸し出ししています。詳しくは知床財団（TEL 87-2828）まで
*数に限りがありますのでご了承ください。



提供：知床財団

クマの目撃やシカなどの動物の死骸を発見したら、365日24時間対応していますので、役場 産業創生課（TEL 87-2126）までご連絡下さい。



Rebirth Rausu

～地域おこし協力隊として 羅臼をもっとアクティ部に～

羅臼町に来てからあっという間に1年が経ちました。羅臼に来たばかりの頃は、学校にいない自分にもどかしさを感じていましたが、今となってはすっかりその思いは消え、これからの人生をどう歩んでいこうか考える時間へと変化してきました。それも、知床・羅臼ならではの雄大な自然と豊かな生態系に魅了された生活があったからだと思います。世界自然遺産のまちで暮らすことは、自分自身の生活の豊かさに広がりをもたらしてくれました。

地域おこし協力隊として1年間心掛けてきたことは、地域をとことん知ること、そしてその情報をより多くの方へ届け羅臼の魅力を伝えることです。SNS（Facebook、Instagram等）を主なツールとして活用し、羅臼ファンを増やしてきました。（SNSでのフォロワー増加合計人数：約1800人）ファンの方々や町民の方から、「いつも楽しみにしています。」、「〇〇な写真期待しています。」、「今度うちの船に乗らないか。」等様々な反響が出てきています。また、町内で撮影した写真がフォトコンテストで入賞することで新しいファンも獲得してきました。自分の活動で、実際に足を運んでくださる方や羅臼と関わりをもってくださる方が一層増えていったら、こんなにうれしいことはありません。引き続き期待してもらえたらと思います。

今年度は、新たなカタチでも情報発信していきたいと考えています。羅臼の暮らしというのは、ここに住まなければわかりませんが、そこにこそ羅臼の魅力があると思っています。そこで、羅臼のことをよく知る町民、ソトから見た羅臼の魅力を知る移住者（町外出身者）、羅臼と関わりたい人、観光客が集まって交流する場を設け、「アクティブな羅臼の暮らし」を伝えていけたらと思います。そこでの交流により、新たなカタチや新たな展開が見られるようになったり、町民の方も羅臼のことをより誇れるものへと変わっていったりしたら、すてきなことです。少し先になりますが、始動した際には皆さんもご協力ください。

羅臼町地域おこし協力隊 大石 陽介（※今年度は、しっかり名前を書きます）



城下町のわだい

みんなであちづくん

3月29日(金)

31年のご功労に感謝 〜羅臼町交通安全指導員会 山内前会長・鹿又前指導員〜

交通指導員会々長 山内 孝治さんが昨年9月13日に、また、今年に入ってから、指導員の鹿又喜代信さんが3月29日に退任されました。

お二人は、なじみの深い指導員さんとして多くの人に慕われ、共に31年間にわたり、街頭での啓もう活動のほか、園児・生徒への青空教室や、登下校時の見守り声掛けなど、笑顔で元氣な挨拶を交わしながら、ご自身としても活動の支えとされ、来る日も町民一人ひとりの安全を願われてこられました。



今年3月に退任された鹿又 前指導員(中央)

長きのご苦勞、ご功績に敬意を表し、そしてこの大切な活動が次の世代の町民さんへとつながっていくことに期待を込め、湊屋町長からそれぞれ感謝状が手渡されました。
また、本年4月からは、山内前会長の後任として、大友 敏春さんが会長に就任されています。

4月6日(土)・8日(月)・9日(火)

緊張の初登校 〜入園、入学おめでとう〜

町内の各幼稚園、小学校、中学校、高校にて入園式、入学式が行われました。

各幼稚園では、羅臼幼稚園17名・春松幼稚園11名、各小学校では、羅臼小学校22名・春松小学校18名、知床未来中学校では35名、羅臼高校では32名の園児・生徒達が入園、入学されました。

新たな場所で新たな仲間と出会った135名。これから色々なことを吸収して、思い出深い学校生活を送って欲しいです。ご入園、ご入学おめでとうございます。



羅臼幼稚園



春松幼稚園



羅臼小学校



春松小学校



羅臼高校



知床未来中学校

町では協働のまちづくりを推進しています。ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を实践している方々を中心に取り上げ掲載して行きたいと考えています。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

4月12日(金)



日ハム後援会が発足！

北海道日本ハムファイターズ羅臼町後援会の設立総会が、4月12日(金)役場で開催されました。

北海道日本ハムファイターズが全道の市町村を全力で応援する「北海道179市町村応援大使」で、2015年度に吉川光夫投手・河野秀数投手が羅臼町の応援大使となったことがきっかけで後援会の発足となりました。

この後援会には町内33名の熱烈的な日本ハムファイターズの方々に賛同いただき会員となつていただきました。

これから日本ハムファイターズ球団の応援を通じて地域の活性化や青少年などのスポーツ活動の振興を行っていきま



北海道日本ハムファイターズ
羅臼町後援会設立総会

会員については、年間を通して随時募集していますので、興味のある方は、役場企画振興課までご連絡ください。
皆さんで道民球団の「日本ハムファイターズ」を応援しましょう！
【連絡先】
役場企画振興課
電話(87)2114

4月14日(日)



知床の春 ここからはじまる 知床雪壁ウォーク2019

開通を目前とした「知床横断道路」を舞台に知床雪壁ウォーク2019が開催され、羅臼コースには、205名の方が参加されました。天気にも恵まれ、春らしい気温となった当日は、知床横断道路から望む「羅臼岳」や「国後島」、「羅臼山」などの景色に加え、高さ7mの雪壁や知床の豊かな自然を感じながら参加者は、10kmの道のりをそれぞれの楽しみ方で完歩していました。

完歩された後の楽しみのひとつでもある地元の方々が作られた三平汁を味わい、疲れた身体を癒し、知床の春を感じた1日となったようです。

来年も多くの方に参加してもらい、羅臼町の魅力を感じてもらえたら嬉しいです。



4月26日(日)



知床横断道路開通 町内に観光シーズン到来

10連休を目前に斜里町と羅臼町を結ぶ国道334号知床横断道路が開通となりました。

当日は、曇り空の下での開通式となりましたが、道外ナンバーの観光客を先頭にウトロ方面へと車を走らせ、知床峠頂上で記念撮影をするなど、雪が残る知床の春を感じている様子が伺えました。

10連休は、たくさん観光客で町内も賑わいをみせており、これから始まる知床の夏も多くの方に満喫してもらいたいものです。



TAXコラム

(税務財政課通信)

情
報
ひろば
RAISU TOWN
INFORMATION

「町税の早期納税にご協力を！」

現在、令和元年度町税の納税通知書発付の準備中です。平成30年度の町税をまだ納税していない方は、早急に納税してください。

また、平成27年度の町税より納期限後に収められた場合は、遅れた日数に応じて延滞金を加算して徴収しています。「ある時払い」や「漁期切上時の一括納税」等をされている方は、これを機会に納期内納税に努めるようお願いいたします。

納期内納税できない方は、分割納税など納税相談にも応じていますので、その場合は必ず役場税務財政課へご相談ください。

【5・6月の休日・夜間窓口】

〈休日窓口〉 6月30日(日) 午前9時～午後5時まで

〈夜間窓口〉 5月31日(金)、6月28日(金) 午後7時まで

〈お問合せ先〉役場税務財政課 TEL 87-2113

寄付・寄贈ありがとうございました

【布団一式】

(株)羅臼の宿まるみ 湊謙一様

知床・羅臼まちづくり基金

【その他、目的達成のために町長が必要と認める事業】

高橋 力也様

(平成31年3月11日～令和元年5月10日受付分掲載)



おくやみ申し上げます



(敬称略)

赤ちゃん誕生



(敬称略)

羅臼いさり火吟社

4月例会句
平成31年4月

鳥帰る清けき園を屈指しつつ 悠羅

名残雪介護の日々を終えし夜や 鹿山

遠足の列沈みゆく蓮華畑 泥舟

初虹へ少年乗せて航機飛つ 羅牛

雪解けやホルスタインの色の山 英美

ドアを開け踏み出す一步風光る こずえ

俳句同好会「羅臼いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、左記までお問い合わせ下さい。

〒086-1823 羅臼町栄町

羅臼いさり火吟社 宮腰 實

(電話)0153-87-3758

人の動き

平成31年4月末現在 ()内は平成31年3月末対比

人口 4,951人 (+21) 男 2,466人(+18)
世帯 2,071世帯(+38) 女 2,485人(+ 3)

編集後記

新元号「令和」となり初めての広報誌発行となりました。今回表紙を飾ってくれたのは瀧波綾人くん。令和元年初日の誕生となりました。おめでとうございます。出産直後の大変な時期にも関わらず、ご家族の方々には写真撮影にご協力を頂き、ありがとうございました。町内の桜が満開となり、自宅付近のチシマザクラも可愛らしい淡いピンクの花びらを広げ、今年も元気に咲いてくれました。毎朝のように桜を眺め、1日の元気の源にしています。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす 令和元年5月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
<http://www.rausu-town.jp/>